

## ダイアボンド DN341S

ダイアボンドDN341Sは、鉄道車両のビニル系材料床敷物の接着に良好なスプレー形ニトリルゴム系接着剤です。

### § 特長

1. DN341Sの皮膜はビニルの汚染性が少なく低臭気です
2. 軟質ビニルの可塑剤を移行しません。
3. 接着力が高く、初期接着性に優れます。
4. 耐油，耐熱，耐水，耐老化性に優れます。

### § 用途

1. 鉄道車両用のビニル系床敷物の接着
  2. 車両，自動車，船舶などの軟質ビニル材料対金属などの接着
  3. その他 木材，繊維，石材，プラスチック，皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

### § 一般性状

主成分		ニトリルゴム
外観		淡褐色
不揮発分 (%)		24 ± 1.5
粘度 (mPa·s)	at20°C	350 ~ 600
指触乾燥時間 (分)	at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分)	at20°C	10 ~ 15
保証期間 (月)	at25°C	6
引火点 (°C)		-4
発火点 (°C)		427

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 スプレーで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は、片面当り 200～300 g/m<sup>2</sup> (両面で 400～600 g/m<sup>2</sup>) 塗布して下さい。  
・スプレーガンの口径：2～2.5 mmφ ・エア圧：0.3～0.5 MPa
3. はり合せ 常温にて 5～10 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着強さ

1. 接着強さ

はく離強さ (N/25mm)

被着材	アルミ板／床敷物	ステンレス／床敷物
常 態	1 時間	10 F
	24 時間	50 F
	48 時間	58 F
熱老化	70℃・96 時間	43 F
耐 熱	60℃	16 PA
耐 寒	-20℃	40 F
耐 水	48 時間	35 F

F：金属面からのはく離

A：接着剤凝集破壊

P：床敷物からのはく離

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	100 ～ 110 °C
3 日 目	120 ～ 130 °C
5 日 目	130 ～ 140 °C

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

## § 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはメチルエチルケトンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。